

日本初開催「コトラーアワードジャパン 2018」 「よなよなエール」のヤッホーブルーイングが最優秀賞を受賞

株式会社ヤッホーブルーイング（長野県軽井沢町）は、日本で初開催となる「コトラーアワードジャパン 2018」で、マーケティング4.0時代にふさわしい、もっとも優れたマーケティングを行ない、Wow!を生み出した企業・団体に授与されるKotler Award最優秀賞を受賞いたしました。

「コトラーアワードジャパン 2018」とは「マーケティングの神様」と評されるフィリップ・コトラー氏が開催する「Kotler Award」を、NewsPicks主催のもと日本で初開催。「経営にマーケティングの力を」をコンセプトに、Kotler Impact Inc. と協力し、デジタル時代における「企業のエンジン」となるべきマーケティングを実行する企業や人にスポットを当て、市場を創造する、Wow!を生み出すなどの日本の優れたマーケティングを表彰する取り組み。

<https://kotleraward-japan.com/>

最優秀賞

KOTLER AWARD JAPAN 2018



■ヤッホーブルーイングの活動

ヤッホーブルーイングは、「ビールに味を！人生に幸せを！」というミッションのもと、バラエティ豊かなクラフトビールを通じてビールファンにささやかな幸せをお届けするため事業を展開してまいりました。ビール市場が縮小を続ける中、ヤッホーブルーイングは13年連続増収増益を続けています。

当社のブランドロイヤルティ向上とロイヤルカスタマーの創出と基盤強化のための活動として、特に、2010年から継続的に実施しているファンイベントや、個性的な味わい・デザイン・ネーミングの製品開発、SNSを活用したプロモーションなどの取り組みは、顧客との絆づくりや推奨を重視するマーケティング4.0時代にフィットした活動だと考えています。

▼ファンイベント

「よなよなエールの超宴」



▼個性的な製品(左から)

「水曜日のネコ」「よなよなエール」

「インドの青鬼」「東京ブラック」



▼SNSを活用したプロモーション事例

「オンライン飲み会」



■主催者からの評価コメント

「ヤッホーブルーイング様は顧客との結びつきが難しい小売メーカーにあり、イベントとSNSを駆使したマーケティング活動を展開し、熱量の高いファンの形成とともにビジネス上の高い成果をあげている事が評価され、コトラーアワード最優秀賞の受賞となりました。」

▼10/29に開催された授賞式の様子



■ヤッホーブルーイング会社紹介

「ビールに味を！人生に幸せを！」というミッションのもと、日本のビール文化にバラエティを提供し、お客様にささやかな幸せをお届けするという想いで、品質にこだわった個性的で味わい豊かなクラフトビールを製造しています。フラッグシップである『よなよなエール』は日本を代表するクラフトビール*としてご好評いただいております。今後もより美味しいビール造りを目指し、お客様に幸せをお届けできるよう努力して参ります。 *クラフトビールとは小規模な醸造所がつくる、多様で個性的なビールのことと考えます